

概要 まちや住宅の安全性・地域性・歴史性等に配慮しながら、市民、事業者等との協働により、良質な住宅、住環境を整備し、多様な世代が共生するまちを実現する。

総合評価

B

客観指標評価については、実体違反建築物件数は減少し、完了検査済証の交付率及び建築協定区画数は増加していることから、やや良い傾向にあると言える。市民生活実感評価もやや良い状況にあることから、施策の目的はかなり達成できていると評価する。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: **b**

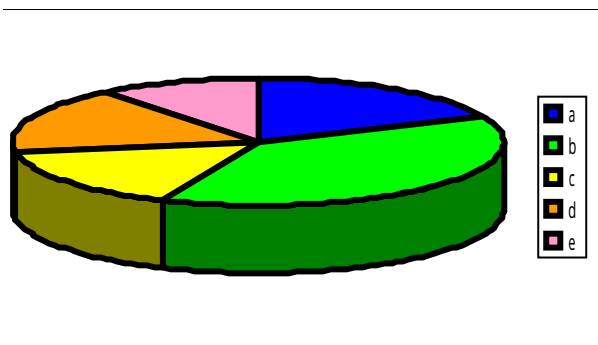
指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

評価

| | | | | |
|---------------------|------|------|------|----------|
| 市民一人あたりの住宅床面積 (㎡) | 27.7 | 28.5 | | - |
| バリアフリー化された住宅の割合 (%) | | 42.1 | | - |
| 完了検査済証の交付率 (%) | 41 | 47 | 100 | 47.0% c |
| 実体違反建築物件数 (件) | 314 | 226 | 245 | 108.4% a |
| (準) 建築協定区画数 (区画) | 5731 | 5737 | 5904 | 97.1% c |

この施策に関する市民生活実感評価

今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。



| | | |
|------------------------|------------|----------|
| 答a: そう思う | 72 | 18.5% |
| 答b: どちらかというと思う | 148 | 37.9% |
| 答c: どちらとも言えない | 63 | 16.2% |
| 答d: どちらかというと思う 思わない | 66 | 16.9% |
| 答e: そう思わない | 41 | 10.5% |
| 有効回答数 | 390 | |
| 市民生活実感評価 | | b |

<参考> この施策実現のための主な事業

事業名

- 鴨川陶化橋上流域環境整備事業
- いきいきハウジングリフォーム
- 京都市醍醐交流会館
- 建築協定連絡協議会
- 検査向上・違反指導
- 安心すまいづくり推進事業
- 分譲マンション管理支援事業
- 向島学生センター運営経費等補助金・貸付金
- コープ・ミール花園建設資金貸付金
- 特定優良賃貸住宅供給促進事業
- 久我の杜シニア住宅建設事業
- 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業
- 京都市総合住宅資金融資制度

公営住宅建設事業
公社分譲住宅特別融資制度貸付金
改良住宅等住宅資金等融資事業
住宅地区改良事業
改良住宅等改善事業
密集市街地整備促進事業
公営住宅
改良住宅
土木工事の検査
人権団体等各種補助金